

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

衆議院議員・小児科医 No.611 あべともこニュース



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県 12 区（藤沢市・寒川町）
当選 7 回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長
現在、内閣委員会・原子力問題調査特別委員会委員



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

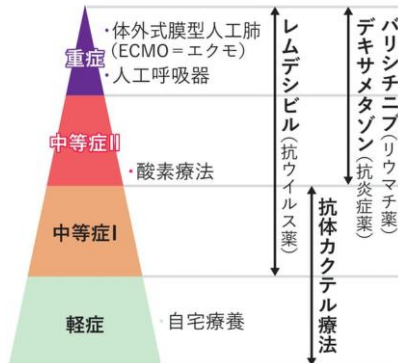
あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会
入会のご案内及びボランティア
スタッフ募集中！



症状別にみた主な治療法・治療薬



(注)実際の治療方針は医師の判断によって異なる

出典：8月12日日経新聞「抗体カクテル療法やECMO 知っておきたいコロナ治療」

◆自宅放置を許さない
緊急事態宣言はついに21都道府県に及び、「自宅療養」という名の「医療放棄」が続き、感染拡大が止まりません。国が認めた治療薬は未だ4種。軽症のうち投与し重症化を防ぐことが可能な抗体カクテル療法の治療薬は、厚労省が供給管理をしており、十分な確保は不透明です。
自宅放置↓重症化↓医療逼迫の悪循環から、一刻も早く早期検査↓早期診断↓治療へ、良好なサイクルを作り出さなければなりません。

コロナ重症化と自宅放置を防ぐために臨時国会を！

◆学びの権利の保障を
夏休みが終わり、学校再開に伴う感染拡大や家庭内感染が大きな懸念となつていきます。
そんな中、「分散登校」や「オンライン授業」など各地で学びの権利を保障する取組みも始まっています。
1人1台端末環境を整えるとした「ギガスクール構想」は前倒しで進められ、9割以上の自治体で整備済み。しかし、端末を持ち帰り学習できる学校ははまだ3割以下にとどまっています。
新型コロナウイルス感染予防策と学びの場の保障のために、米国のサンゼルス市では週一回教師と子どもにPCR検査を実施、対面授業の方が感染が少ないというデータもあります。
感染力の強い変異株拡大予防には、感染者が出る前の予防的検査の導入を考えるべき時期にあるのではないのでしょうか。

◆アフガニスタン協力者の退避を！
アフガニスタンでタリバン政権復活後に起きたテロ攻撃と報復で、多大な犠牲が生じています。
米国の武力攻撃から20年、武力で平和は生まれず、連鎖を繰り返すだけであることを証明しました。
中村哲さんが取り組んだ、人々が生き暮らすための支援が必要で、今回、日本政府は、退避を希望する日本人や大使館などの現地アフガニスタン人職員など500人を想定し、自衛隊機3機と政府専用機を1機、自衛隊法に基づいて派遣しました。
しかし大使館員は17日には既に脱出。自衛隊機は、日本人わずか1人、米国から依頼されたアフガン人数名を退避させただけで、31日の米軍徹底の期限を迎えようとしています。
何のために自衛隊機を送り、なぜ多くの協力者を残し、任務を完了したのか、国会審議で質す必要があります。

衆議院議員 あべともこ事務所 〒251-0025 藤沢市鵜沼石上 1-13-13-1 F

TEL 0466-52-2680 FAX 0466-52-2681 E-mail : inochi@shonanfujisawa.com

立憲民主党神奈川県総支部連合会 〒231-0012 横浜市中区相生町 4-69-2 F TEL 045-226-2377 FAX 045-226-2378